

★歯を大切にするための情報をお届けします。



健康ニュース

東本歯科医院

089-941-5555

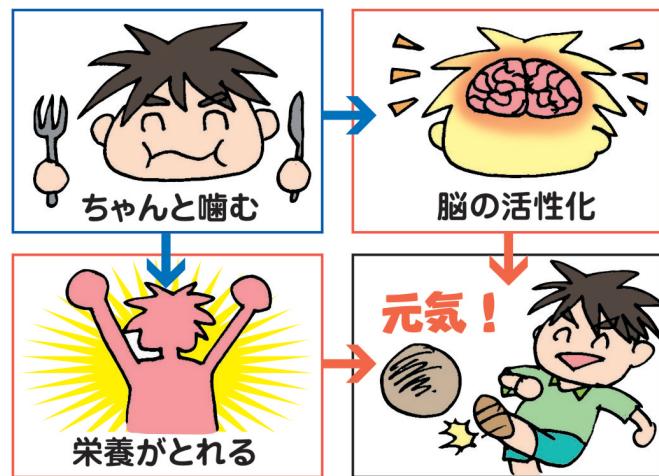
よく噛めることは 健康の秘訣



元気な体・表情を維持するためにはバランスの良い食事で十分な栄養を補給することが必要です。

そのためにはお口の中全体を検査して、むし歯・歯周病・咬み合わせなど、しっかり治療しよく噛めるお口の環境を整えることが大切です。

そして、その状態をできる限り維持するための定期的なチェックとお手入れも欠かせません。



上と下の絵の中に
7カ所違う所があり
ます。探してみてね!



テーマ「母子感染」



★歯を大切にするための情報を届けます。



健けんこう口こくニュース

束本歯科医院

089-941-5555

むし歯の 症状と 治療法



歯科検診などで「C1…C2…」といった言葉を耳にされたことがあると思います。これはむし歯の進行状況をC1～C4という単位を用いて表したものです。むし歯の進行状況に応じて、歯を削る量、治療内容、治療後の状態、通院回数、治療費用なども違ってきます。むし歯にならないように毎日の歯磨き(セルフケア)と定期的な歯科医院でのお手入れ(プロケア)を心がけましょう。もし、むし歯になった場合は症状が進行する前に受診し、早期治療で出来る限り歯を削る量を減らすことが天然の歯を長持ちさせるポイントです。

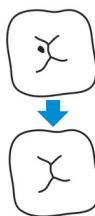
C0(見た目にはわからないむし歯)

表面が溶け白く濁って見えたり、薄い茶色になります。適切な対策で削らず再石灰化(歯の表面を修復する作用)を促して、観察します。



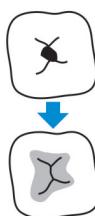
C1(初期段階のむし歯)

歯の表面(エナメル質)のむし歯を削り、白いプラスチック樹脂を詰めます。



C2(象牙質まで進行したむし歯)

象牙質までむし歯が進んでいるため、歯を削る量が増えます。状態に応じて、白いプラスチック樹脂または詰め物(銀歯)になります。



C3(歯の神経まで進んだむし歯)

神経を取り除いたあと、歯の根の部分の治療が必要になります。通常は被せ物になります。

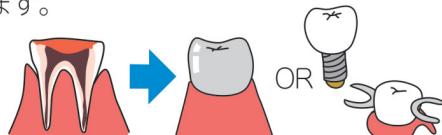


C4(歯の根の部分だけ残ったむし歯)

根っここの状態によって残す場合と抜く場合があります。

残す場合は、歯の根の治療を行い土台を作り被せ物をします。

抜く場合は、抜いたあと入れ歯、ブリッジ、インプラントなどの治療が必要になります。



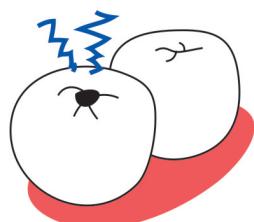
※詰め物・被せ物には銀色の金属(保険適用)以外に、セラミックを使った白い詰め物・被せ物(保険適用外)があります。



水が歯にしみる

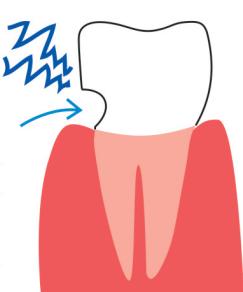
水を飲んだ時、歯がしみる。テレビなどでよく耳にする「知覚過敏」の代表的な症状ですが、次のような原因で歯がしみることがあります。まずは原因を調べ、原因に応じた治療が必要です。

むし歯

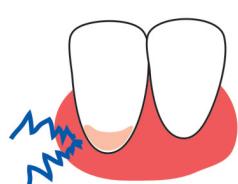


むし歯が進行し象牙質まで進むと歯の神経を刺激し、水などの冷たい物がしみるようになります。冷たい物がしみくなり、熱い物がしみるようになるとむし歯がさらに進行している可能性があります。

咬み合わせ



歯ぎしりや歯をくいしばると、歯にはとても大きな力がかかります。咬み合わせが悪いと特定の歯にいつも力がかかり、歯の根の部分がくさび状に欠けてしまい神経を刺激します。



歯周病

歯周病が進行すると歯ぐきがさがって歯の根元の部分が露出します。歯の根元の部分は柔らかく刺激や温度変化に敏感でしみやすくなります。



歯磨き

歯磨きの力が強すぎたり、間違った方法での歯磨きが原因となる場合もあります。正しい歯磨き方法を身につける必要があります。